

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

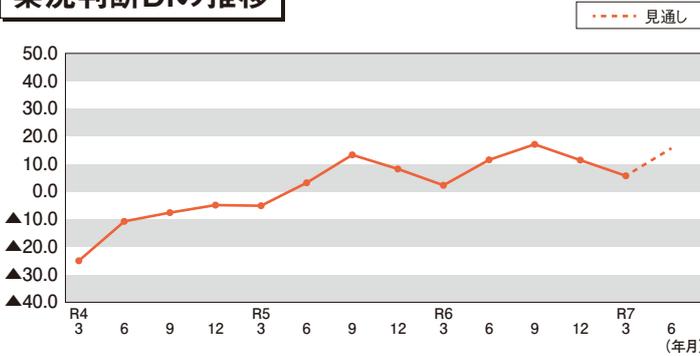
調査の概要

- 調査時期：令和7年3月3日～7日
 - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
 - 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
 - 分析方法：DIを中心とした分析。
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
 - その他：「外国人・海外情勢と中小企業」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

業況判断DIの推移



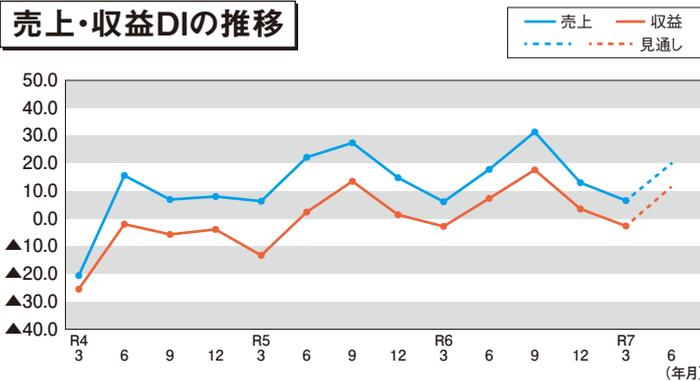
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.6と前期から5.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.1ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



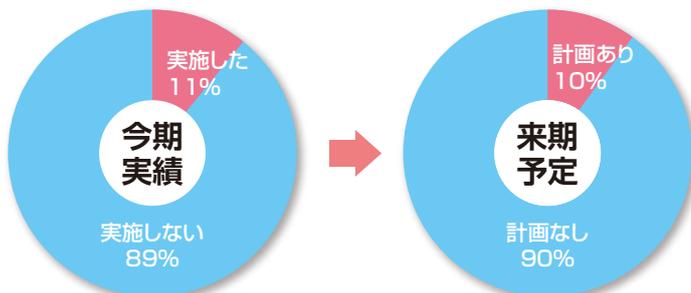
○売上DI～低下↓

- ・今期は6.4と前期から6.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.8ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲2.8と前期から6.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.4ポイント上昇する見通し。

設備投資動向

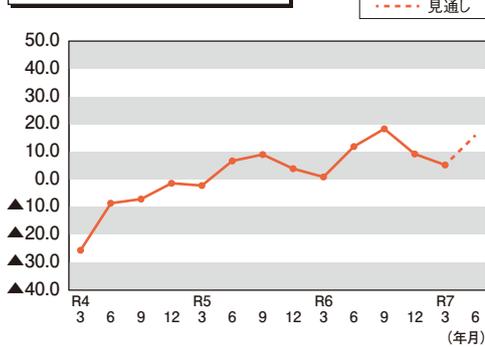


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
人手不足	33.2	35.9
原材料高	27.1	28.8
売上の停滞・減少	22.6	22.1

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	52.1	51.5
人材を確保する	30.9	37.6
販路を広げる	27.1	28.8

札幌圏

業況判断DIの推移



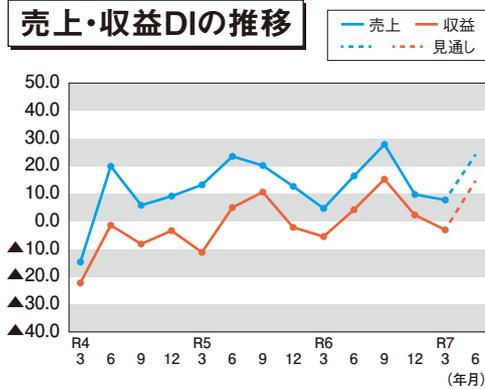
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.1と前期から4.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.9ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



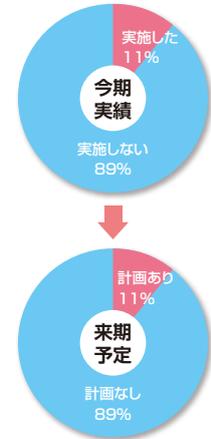
○売上DI～低下↓

- ・今期は7.6と前期から2.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.6ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲3.2と前期から5.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.9ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

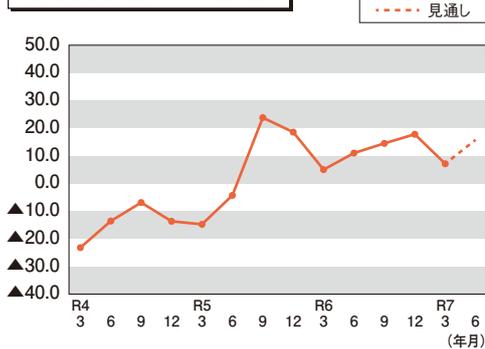
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	31.9	34.0
売上の停滞・減少	25.1	25.5
原材料高	24.3	26.0

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	48.5	50.6
人材を確保する	28.5	36.6
販路を広げる	27.2	32.3

後志圏

業況判断DIの推移



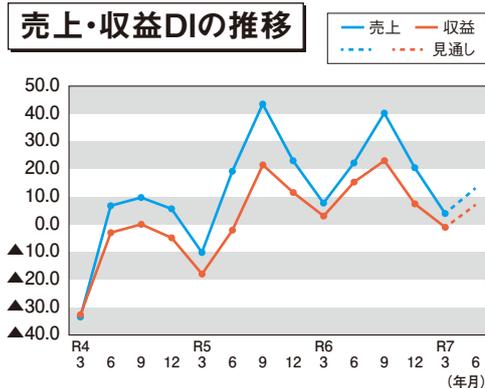
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は7.0と前期から10.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.8ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



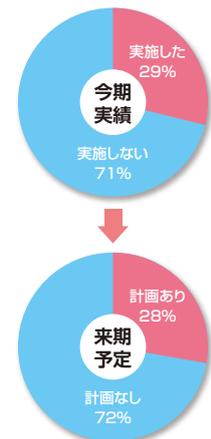
○売上DI～低下↓

- ・今期は3.8と前期から16.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲1.2と前期から8.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.3ポイント上昇する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
人手不足	36.2	40.0
原材料高	33.3	35.2
利幅の縮小	25.7	28.6

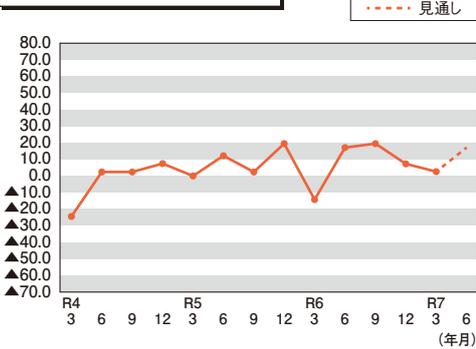
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	60.0	53.3
人材を確保する	36.2	40.0
販路を広げる	26.7	21.0

製造業

札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

業況判断DIの推移



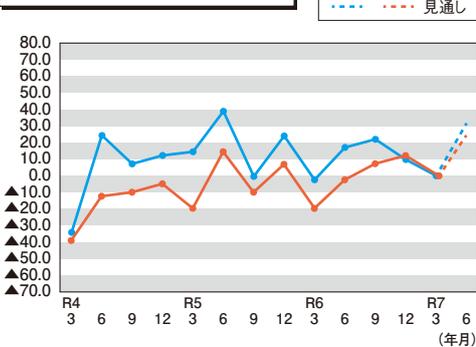
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は2.4と前期から4.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.7ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から9.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から12.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から24.4ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・建具

受注は堅調に推移している。積極的な設備投資で効率化、短納期化に取り組んでいる。

・プラスチック製品

同業者間の競争あるも、比較的売上は安定している。諸経費の改善を図ることができれば、賃上げにも対応できると考える。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	48.8
人手不足	29.3
売上の停滞・減少	26.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	61.0
販路を広げる	29.3
人材を確保する	29.3

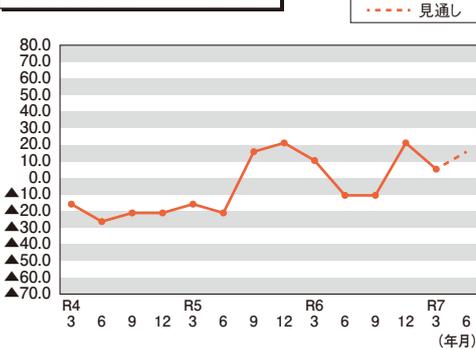
設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施した	12.2
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	9.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

業況判断DIの推移



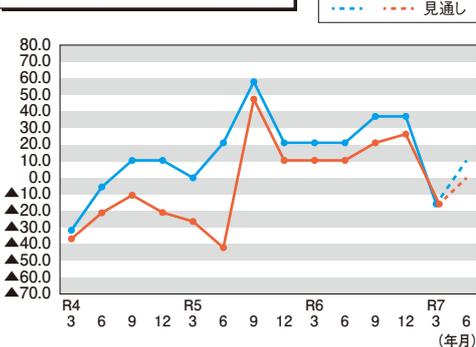
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は5.3と前期から15.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.5ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲15.8と前期から52.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から26.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲15.8と前期から42.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.8ポイント上昇の見通し。

企業のコメント

・魚肉練り製品

賃金引上げによる待遇改善の結果、離職者が減少し人手不足が解消された。

・清酒

道内各地からの注文も多く、またインバウンドからの人気が高い製品を取り揃えており安定した業況推移となっている。地元の高校生をインターンで受け入れるなど、地域貢献にも尽力している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	57.9
利幅の縮小	26.3
人件費の増加	21.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	68.4
販路を広げる	47.4
人材を確保する	26.3

設備投資動向 (%)

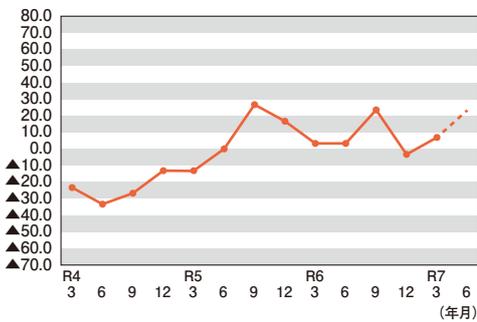
今期設備投資を実施した	5.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	5.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

卸売業

札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

業況判断DIの推移



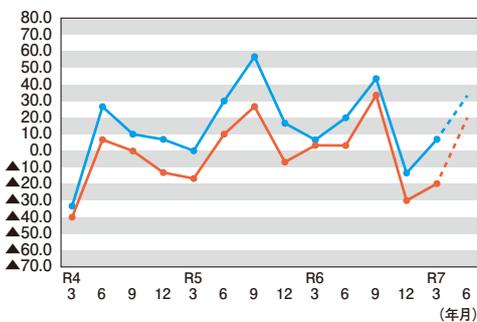
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は6.7と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から16.6ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は6.7と前期から20.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から26.6ポイント上昇する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は▲20.0と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から40.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・ゴムシート・港湾資材

原材料価格高騰しているが、建物工事・公共工事共に工事件数多く需要は高まっている。受注確保し今後の業況についても不安はなく、利益重視の営業を心掛けている。

・冷暖房・空調機器

大手企業や病院に対しての売上は毎年安定している。収益性などに問題なく今後も安定した業績を残せる見込み。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	43.3
売上の停滞・減少	36.7
同業者間の競争激化	26.7

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	63.3
経費を節減する	46.7
人材を確保する	26.7

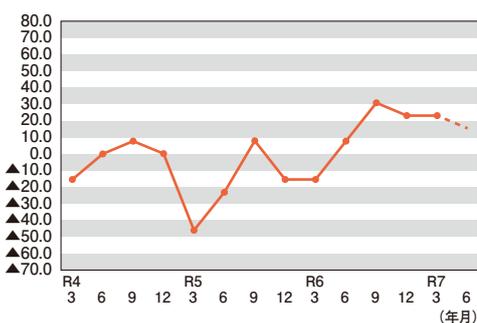
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

業況判断DIの推移



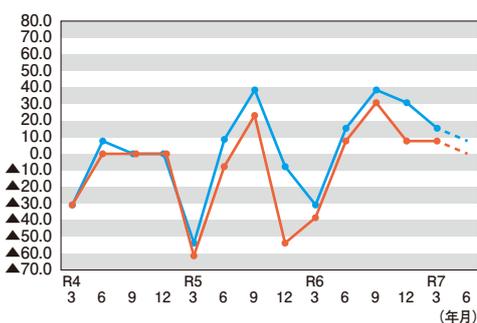
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は23.1と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は15.4と前期から15.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は7.7と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から7.7ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・プラスチック、発泡容器

漁業者向けの商品が主であり外国向けの販売は無いが、飲食店へテイクアウト容器の販売をしており、外国人観光客が増加することで間接的な売上増加が見込める。

・じゃがいも卸

加工品等による付加価値を高めて、利益増強を図っている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	46.2
同業者間の競争激化	38.5
利幅の縮小	23.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	53.8
販路を広げる	46.2
情報力を強化する	46.2

設備投資動向(%)

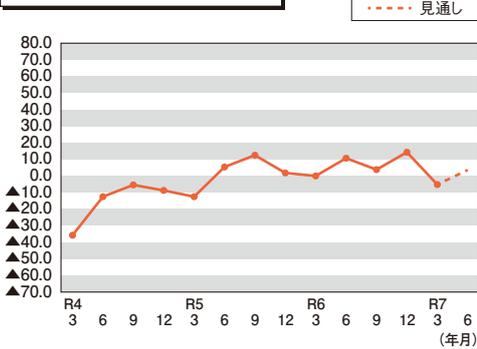
今期設備投資を実施した	7.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

業況判断DIの推移



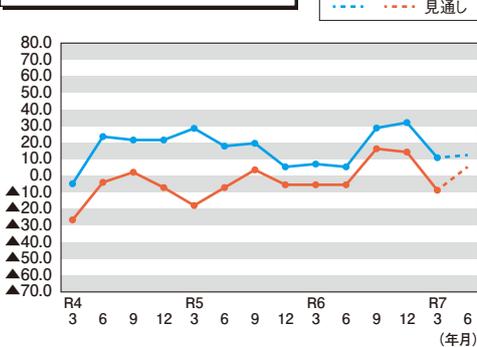
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲5.4と前期から19.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.0ポイント上昇の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は10.7と前期から21.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から1.8ポイント上昇の見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲8.9と前期から23.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇の見通し。

企業のコメント

・野菜、果物販売

野菜、運送代、光熱費の高騰により、利益率が縮小している。販売価格の値上げも実施しているがそれ以上に仕入れ値が上がっているため、利益の確保に苦戦しており業況は悪化している。

・かつお節

仕入高の高騰や売上低調であったものの、今年からネット販売を開始し一定の成果があることから今後に期待できる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	28.6
人手不足	26.8
人件費の増加	25.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	46.4
宣伝・広告を強化する	30.4
売れ筋商品を取扱う	21.4

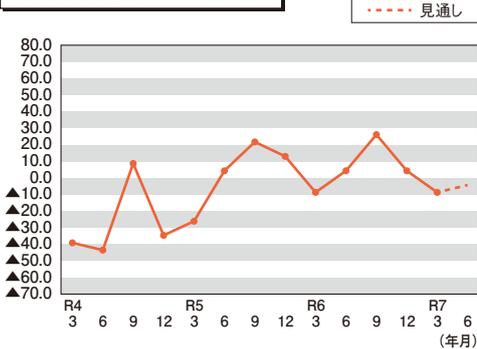
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.9

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



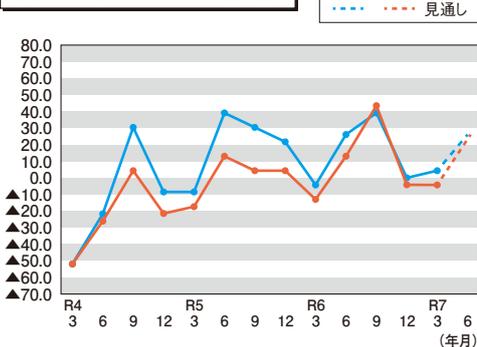
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲8.7と前期から13.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は4.3と前期から4.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から21.8ポイント上昇する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は▲4.3と前期と横ばいとなった。
- ・来期は今期から30.4ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・酒、たばこ、飲食品雑貨

物価上昇に伴い、安い商品を求め大手スーパーなどに客が流れている状況である。インバウンド需要が見込める地域であるが、バスで通過してしまう立地であることから恩恵が少ない。

・鮮魚、海産物

商店街の利用客減少が続き、小売りから飲食店への卸売に注力し売上確保に努めている。大型スーパーの品揃えには敵わないため、品質で対抗している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

商圏人口の減少	47.8
仕入先からの値上げ要請	26.1
売上の停滞・減少	21.7

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.9
品揃えを充実する	21.7
宣伝・広告を強化する	21.7

設備投資動向(%)

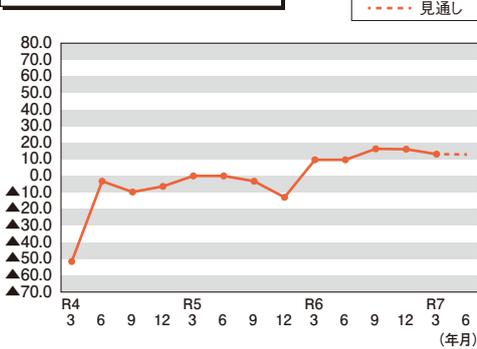
今期設備投資を実施した	8.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	4.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

サービス業

札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

業況判断DIの推移



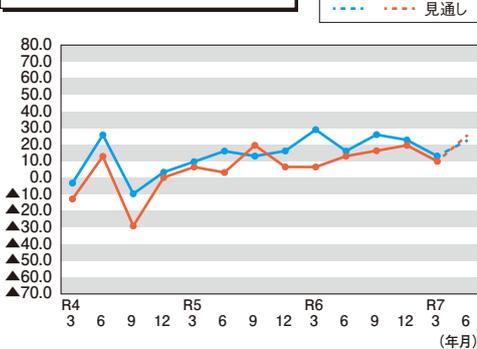
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は12.9と前期から3.2ポイント低下した。
- ・来期は12.9ポイントと横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は12.9と前期から9.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.7ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は9.7と前期から9.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.1ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・貨物運送

売上については好調推移しているものの、車両の修繕費、燃料費の増加により利益率は低下傾向となっている。

・印刷業

デジタル化による市場縮小とコロナがもたらした外出自粛、巣ごもり需要の影響により業界全体が打撃を受けており売上は低迷している。材料価格上昇により利幅も縮小傾向である。

経営上の問題点(複数回答)(%)

同業者間の競争激化	35.5
売上の停滞・減少	29.0
人手不足	29.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	41.9
販路を広げる	35.5
宣伝・広告を強化する	25.8

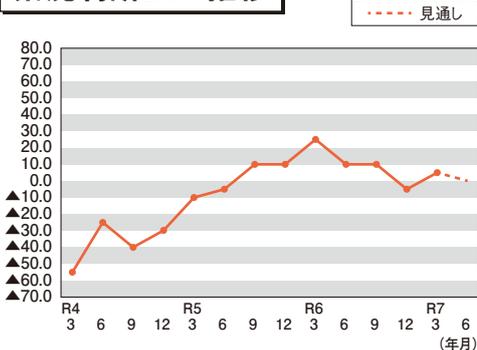
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	12.9
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	16.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



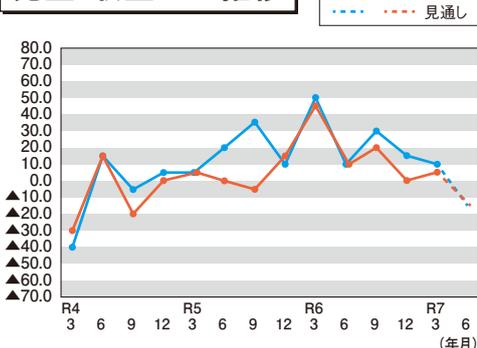
コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は5.0と前期から10.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は10.0と前期から5.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から25.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は5.0と前期から5.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・自動車整備、販売

今期は昨年と比べ雪が比較的少なく、自動車整備の受注が減少。また物価高騰に伴い、車の整備にお金をかける人が少なくなってきている。

・温泉旅館業

海外の観光客が増加傾向にあり、売上収益面ともに順調推移中である。人材確保の面においては給与の負担増加が課題ではあるが、営業継続上やむを得ないと考える。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	55.0
利幅の縮小	35.0
材料価格の上昇	35.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	65.0
人材を確保する	45.0
販路を広げる	30.0

設備投資動向(%)

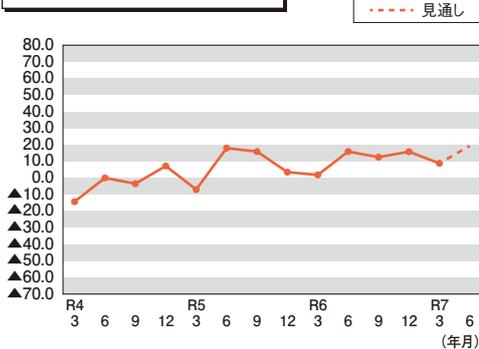
今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	5.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

建設業

札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

業況判断DIの推移



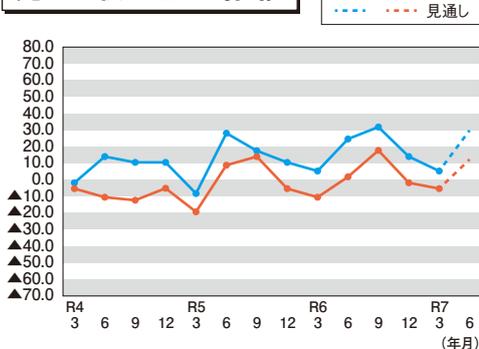
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は8.8と前期から7.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.5ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は5.3と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から24.5ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲5.3と前期から3.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.6ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・一般木造建築

材料費、人件費の値上りや金利上昇等から住宅需要が減少傾向である。リフォーム等で売上、利益を確保している。

・ブロック工事

受注工事増加により増収、増益はできている。仕入価格の上昇はあるが価格転嫁は図れている。外国人労働者を雇用しており、人材のつなぎ留めと、技術力強化、販路拡大を重点的に取り組んでいる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	56.1
材料価格の上昇	52.6
人件費の増加	22.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	49.1
人材を確保する	43.9
販路を広げる	24.6

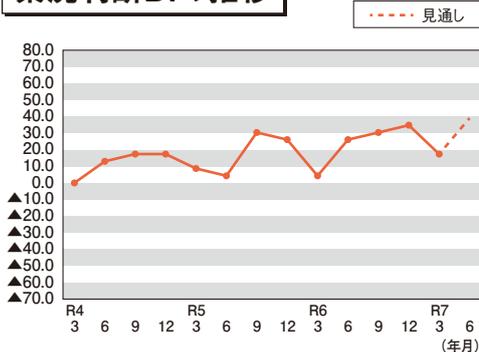
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	14.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



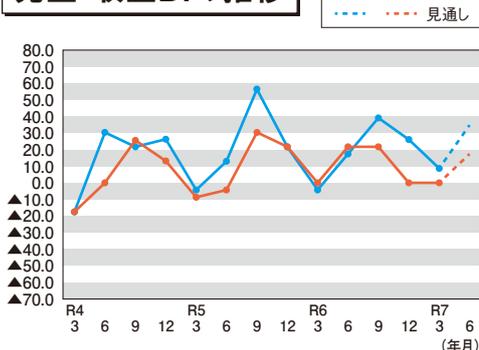
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は17.4と前期から17.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から21.7ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は8.7と前期から17.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から26.1ポイント上昇する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は0.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から17.4ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・新築建設業

公共工事受注は順調だが、資材高騰等により、一般住宅新築が低調推移となっている。

・公共土木工事

売上高は前期同程度、主たる工事である高規格道路は外注割合が高まっており、人件費や材料費の高騰と相まって利益率は低下している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	73.9
人手不足	69.6
人件費の増加	26.1

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	65.2
経費を節減する	52.2
技術力を高める	30.4

設備投資動向(%)

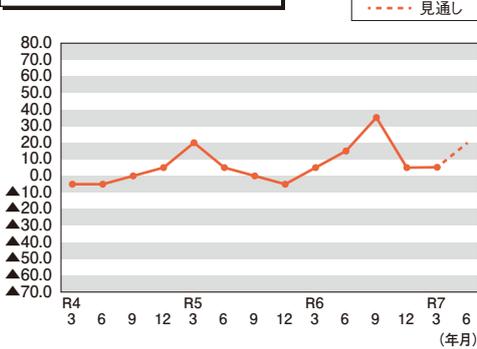
今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

不動産業

札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



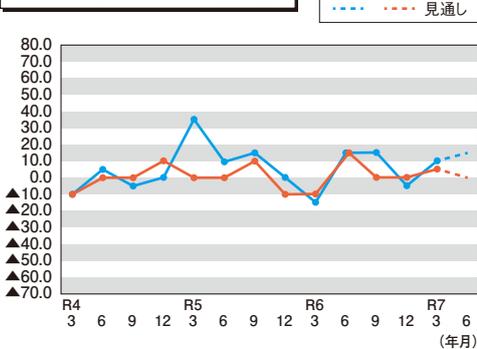
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は5.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から15.0ポイント上昇の見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は10.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント上昇の見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は5.0と前期から5.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**不動産賃貸、売買**
業況に変化はないが、外国人からの不動産の問い合わせが増えてきているため対策をしていく。
- ・**建設(住宅建設他)**
資材高騰をはじめとする建設費の上昇や金利上昇の局面から住宅販売については苦戦をいられている。新築住宅以外の業務(リフォーム事業等)に力を入れることで収益確保に努めている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

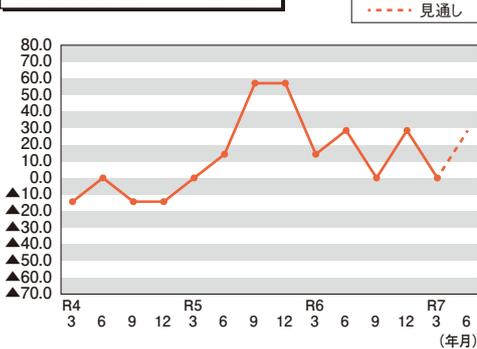
商品物件の高騰	60.0
同業者間の競争激化	20.0
商品物件の不足	20.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	40.0
経費を節減する	40.0
宣伝・広告を強化する	25.0

後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

業況判断DIの推移



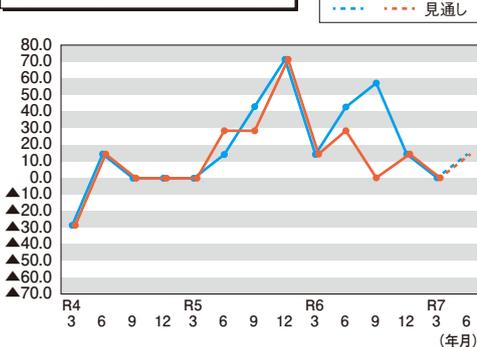
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から28.6ポイント低下。
- ・来期は今期から28.6ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から14.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から14.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

- ・**戸建物件買取再販**
これまで仲介が弱かったが、手数料改定もあり注力していきたいと考えている。物件の仕入はリスクを負わないよう努めていく。
- ・**仲介、売買、賃貸**
テナントの仲介は減少傾向であるが、中古戸建は増加傾向にある。今後も同様の流れで推移すると予想する。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	42.9
利幅の減少	42.9
商品物件の不足	42.9

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	57.1
情報力を強化する	42.9
販路を広げる	28.6

特別調査

「外国人・海外情勢と中小企業」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

問1

昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを1から4の中から1つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5から9の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
外国人との接触機会							
1. コロナ前を上回っている	8.3%	11.6%	35.4%	25.5%	17.5%	18.5%	20.6%
2. コロナ前とほぼ同水準	48.3%	46.5%	31.6%	47.1%	33.8%	40.7%	40.0%
3. コロナ前を下回っている	1.7%	0.0%	2.5%	2.0%	1.3%	0.0%	1.5%
4. わからない	41.7%	41.9%	30.4%	25.5%	47.5%	40.7%	37.9%
ビジネスチャンスを増やす意向							
5. 大いにある	3.3%	4.7%	8.9%	13.7%	3.8%	7.4%	6.8%
6. どちらかというところ	31.7%	23.3%	27.8%	23.5%	22.5%	40.7%	27.1%
7. どちらかというところない	21.7%	27.9%	27.8%	23.5%	20.0%	18.5%	23.5%
8. まったくない	13.3%	20.9%	12.7%	23.5%	21.3%	14.8%	17.6%
9. わからない	30.0%	23.3%	22.8%	15.7%	32.5%	18.5%	25.0%

0 10 20 30 40 50

問2

貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を1から6の中から1つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を7から10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
外国人労働者を雇用している							
1. 50%以上	0.0%	2.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
2. 40%~50%	3.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.9%
3. 30%~40%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.2%
4. 20%~30%	0.0%	0.0%	1.3%	2.0%	1.3%	0.0%	0.9%
5. 10%~20%	5.0%	0.0%	2.5%	3.9%	2.5%	0.0%	2.6%
6. 10%未満	6.7%	7.0%	7.6%	2.0%	7.5%	14.8%	7.1%
外国人労働者を雇用していない							
7. 人手が充足しており必要ない	21.7%	41.9%	38.0%	33.3%	15.0%	37.0%	29.4%
8. 受入負担(就労環境整備、育成コスト等)が重い	21.7%	20.9%	17.7%	21.6%	30.0%	18.5%	22.4%
9. 雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い	5.0%	11.6%	8.9%	0.0%	16.3%	7.4%	8.8%
10. コミュニケーションなどで心配がある	33.3%	16.3%	22.8%	35.3%	25.0%	22.2%	26.2%

0 10 20 30 40 50

問3

貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれくらいですか。あてはまるものを1から6の中から1つ選んでお答えください。売上がない場合は7を選択ください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
外国向けの売上がある							
1. 50%以上	0.0%	0.0%	1.3%	7.8%	0.0%	0.0%	1.5%
2. 40%~50%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 30%~40%	1.7%	0.0%	1.3%	3.9%	0.0%	0.0%	1.2%
4. 20%~30%	3.3%	0.0%	3.8%	5.9%	0.0%	0.0%	2.4%
5. 10%~20%	5.0%	4.7%	8.9%	7.8%	3.8%	14.8%	6.8%
6. 10%未満	18.3%	20.9%	34.2%	7.8%	6.3%	33.3%	19.1%
7. 外国向けの売上はない	71.7%	74.4%	50.6%	66.7%	90.0%	51.9%	69.1%

0 10 20 30 40 50 60 70

問4

貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1から5の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について6から10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
外国向けの取組みを行っている							
1. 製品・商品・サービス面の開発強化	5.0%	0.0%	5.1%	2.0%	0.0%	3.7%	2.6%
2. 営業力の強化	5.0%	0.0%	3.8%	3.9%	0.0%	3.7%	2.6%
3. ネットや広告による情報発信	3.3%	4.7%	7.6%	9.8%	1.3%	3.7%	5.0%
4. 海外拠点の設置・強化	0.0%	2.3%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%
5. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外国向けの取組みを行っていない							
6. 国内だけで十分な売上げがある	51.7%	34.9%	45.6%	49.0%	61.3%	51.9%	50.0%
7. 何をすればいいのかわからない	18.3%	30.2%	25.3%	9.8%	18.8%	25.9%	20.9%
8. 人材が不足している	5.0%	9.3%	2.5%	5.9%	6.3%	7.4%	5.6%
9. 資金面で余裕がない	10.0%	14.0%	7.6%	13.7%	11.3%	0.0%	10.0%
10. その他	1.7%	4.7%	2.5%	3.9%	1.3%	3.7%	2.6%

0 10 20 30 40 50 60

問5 特別設問

貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について5から10の中から1つ選んでお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
(引上げ)							
1. 0%以上2%未満	30.0%	11.6%	19.0%	31.4%	23.8%	14.8%	22.6%
2. 2%以上4%未満	20.0%	18.6%	12.7%	19.6%	26.3%	25.9%	20.0%
3. 4%以上6%未満	6.7%	4.7%	2.5%	3.9%	10.0%	0.0%	5.3%
4. 6%以上	0.0%	2.3%	0.0%	2.0%	0.0%	3.7%	0.9%
(引上げない)							
5. 賃上げに見合う価格転嫁ができない	15.0%	16.3%	21.5%	11.8%	13.8%	3.7%	15.0%
6. 同業や同地域内の他社が上げていない	3.3%	4.7%	5.1%	5.9%	1.3%	3.7%	3.8%
7. 今後の業績見通しが不透明	18.3%	16.3%	15.2%	17.6%	5.0%	18.5%	14.1%
8. 売上の低迷や伸び悩み	1.7%	11.6%	5.1%	2.0%	3.8%	0.0%	4.1%
9. これまでに賃金を引上げ済み	3.3%	2.3%	5.1%	2.0%	13.8%	3.7%	5.9%
10. 自社に従業員はいない(家族経営など)	1.7%	11.6%	13.9%	3.9%	2.5%	25.9%	8.2%

0 10 20 30 40 50